



UAゼンセン 総合サービス部門 外食産業における受動喫煙に関するアンケート(概要)

UAゼンセン総合サービス部門フードサービス部会では、外食産業の働く現場における受動喫煙の問題についてかねてより懸念を抱え、その対策に取り組んでいます。
 今回、実際現場で起こっている状況を把握するために、**外食産業に働く者3000名を対象に**「店舗における受動喫煙の有無」や「食事を提供する場における全面禁煙の是非」などについてアンケート調査を実施致しました。

[質問①] 従事する店舗において、お客様の喫煙による受動喫煙はありますか？

	人	%
A. 受動喫煙がある	1304	63%
B. 受動喫煙はない	772	37%

[質問②] 労働組合は、上部団体(UAゼンセン)とともに、所属するフードサービス部会が中心となり、現場の皆さんの受動喫煙を防ぐために「食事を提供する場においては原則全面禁煙」(ただし喫煙専用室の設置は認める)とする政策を掲げています。この考え方についてお聞かせください。

A. 賛成	1456	70%
B. 反対	299	14%
C. わからない	321	15%

[質問③] 厚生労働省は、2020年の東京オリンピックに向け現在受動喫煙対策の強化として飲食店などにおける間仕切りなどの「空間分煙」は認めず、「屋内禁煙」(ただし喫煙専用室の設置は認める)とする考え方を示しています。この考え方についてお聞かせください。

A. 賛成	1431	69%
B. 反対	323	16%
C. わからない	323	16%

[質問④] 質問③にある厚生労働省の受動喫煙対策に対して、(目録宛内などの)反対意見もあり、小型店・個人店や小規模事業者を規制対象から外すことも検討されています。私たち労働組合は、飲食店同士の公平な競争を行う観点から、例外なく受動喫煙対策の対象とすべきと考えています。皆さんの考えをお聞かせください。

A. 小型店・個人店や小規模事業者なども例外なく対象とすべき	1405	69%
B. 小型店・個人店や小規模事業者などは対象から外すべき	583	29%

[質問⑤] あなたはどのような業態で働いていますか。

A. ファミレス	1009	49%
B. 居酒屋	395	19%
C. ファストフード(麺類・丼もの含む)	370	18%
D. 他	294	14%

[質問⑥] あなたのお仕事についてお聞かせください。

A. 接客担当	626	30%
B. 調理担当	360	17%
C. 接客・調理ともに担当	858	41%
D. その他担当	233	11%

[質問⑦] あなたの雇用区分についてお聞かせください。

A. 正社員	770	37%
B. アルバイト・パートタイマー	1254	60%
C. 契約社員(嘱託含む)	52	3%

[質問⑧] あなたの年齢についてお聞かせください。

A. 20歳未満	150	7%
B. 20代	475	23%
C. 30代	586	28%
D. 40代	532	26%
E. 50代	254	12%
F. 60歳以上	80	4%

- 1.実施期間:2017年8月1日~8月31日
- 2.対象者数 : 3,000名
- 3.対象事業者(企業数)
: フードサービス産業に関わる31社
- 4.対象事業所数 : 約600カ所
- 5.有効回収数 : 2,076件

本件に関するお問い合わせ先

UAゼンセン総合サービス部門

住所:東京都千代田区九段南4-8-16

担当:原田光康(副事務局長)/高奥邦英(執行委員)

Tel:03-3288-3736 FAX:03-3288-3728